

ふるさと納税の返礼品に
当院の日帰り人間ドックが登場

前立腺肥大症の新しい治療を開始

玄関ボランティア募集！

あなたの笑顔で患者さんをお出迎えしませんか？

ゆき
き
は
な
雪華

2025 Summer

Vol. 54

- 季刊発行 -



表紙：看護の日イベント（救護服・看護師実習服体験）

ふるさと納税の返礼品に当院の日帰り人間ドックが登場

8月1日より古河市のふるさと納税の返礼品に、当院の日帰り人間ドックと体組成測定、栄養相談がセットになった商品が登場します。ご本人様はもちろん、大切な方へのプレゼントとしてのご利用もできます。



商品詳細

内 容：日帰り人間ドック
体組成測定
栄養相談のセット

所要時間：約半日

価 格：176,000円

日帰り人間ドックの
詳しい検査内容は
こちら



※古河市内にお住まいの方は注意！

住民票のある自治体へふるさと納税制度で寄附した場合、上限までの控除はありますが返礼品はありません

利用方法

ふるさと納税サイトで古河市の返礼品から
当院の商品を選択する



受診券が届く



電話で日時を予約

※受診1か月前に案内を送付します。
オプション検査を希望する場合は当日の支払いが発生します。



当日ご来院ください

通常の健診を受けられる方へ

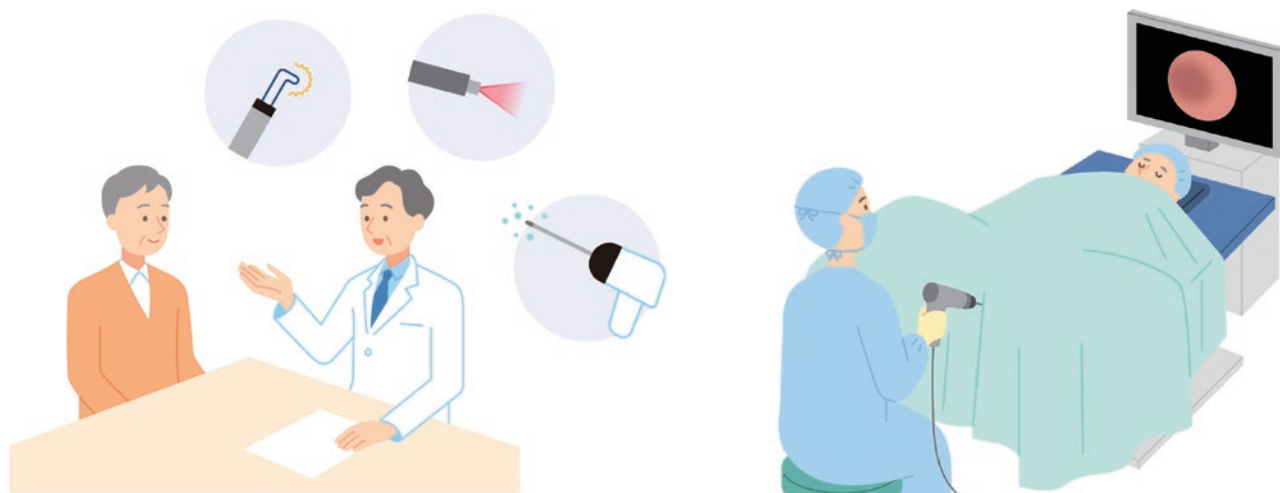
プラス1,100円で筋肉量を測ってみませんか？

健診のオプション検査項目に7月1日から、InBody（インボディー）による体組成測定を追加しました。InBodyは、体を構成する水分、ミネラル、筋肉、脂肪などの量や割合を調べ、体のむくみや栄養状態などを確認できる検査です。

当院で導入した機械「InBody BWA2.0S」は、腕、脚、体幹をそれぞれ計測できるため、バランスのいい筋肉の付き方をしているか、左右で偏りはないかなどを細かに数値化することができます。測定は服を着たまま仰向けの状態で行い、所要時間は約30秒です。（税込み1,100円）



前立腺肥大症の新しい治療（WAVE）を開始



泌尿器科では、前立腺肥大症の新しい治療「経尿道的水蒸気治療（WAVE）」を開始しました。これは、前立腺の肥大した部分に103℃の水蒸気を注入し、水蒸気の熱を利用して前立腺を小さくさせる治療です。

当院では2泊3日の入院で行います。これまで行っていた組織を削る手術と異なり針を刺すだけで出来るため、患者さんの身体の負担が少ないことが一番の特徴です。手術後、一定期間は尿道カテーテルを体内に留め置きます。

手術時間



約10分

※術後の経過観察のため
2泊3日で実施

対象者



**合併症のリスクが
高い方、高齢の方など**

治療費



保険適用で1～3割負担

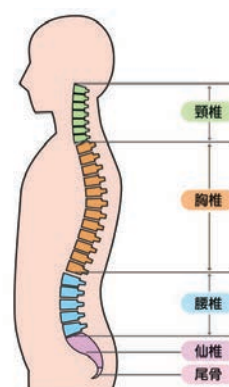
高額療養費制度の対象です。
詳しくは総合受付へお問い合わせ
ください。

脊椎の手術に対応できるようになりました

整形外科では、椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症など、首や腰からくるしびれ、疼痛に対し脊椎専門医による診察、治療を行っています。麻酔科（ペインクリニック）とも連携し、投薬、ブロック治療や、手術的治療にも対応できるようになりました。

また、高齢者の圧迫骨折に対してもコルセットによる保存的治療から手術的治療まで対応できるようになりました。

腰痛、四肢のしびれなど背骨関係の病気でお困りの際はご相談ください。



玄関ボランティア募集！ あなたの笑顔で患者さんをお出迎えしませんか？

高校生以上の方を対象に、病院の玄関先で患者さまをお出迎えするボランティアを募集しています。「車椅子ってどうやって使うの?」「困ったときはどうすればいい?」そんな不安も大丈夫!活動前には、車椅子の操作方法やよくある場面での対応方法を学ぶワークショップを開催します。

活動中は職員が近くに立ちますので、わからないことや困ったことも相談できる環境です。興味のある方はお気軽にご連絡ください。あなたの優しさが患者さまの安心につながります!

活動中のボランティアの方からこんな声が届いています



「数年前からボランティアをしています。年を取っている自分にできることがあるか不安でしたが、病院玄関でご案内した患者さま・ご家族さまからいただく『ありがとう』『助かりました』がとても嬉しく、やりがいを感じています」

(70代 女性)



「自分のできることをやりたい、今ならできると軽い気持ちで参加しましたが、得るものは大きかったです。『おはようございます』『お疲れ様です』という短い言葉でも、定年後に誰かと言葉を交わせることに喜びがあります」

(70代 男性)

対 象：高校生以上
内 容：車椅子の乗降介助、院内のご案内 など
時 間：開院日の午前9時から11時まで
(活動時間をご相談ください)
問合せ先：総務課 総務係 ☎ 0280-23-7112 (直通)



総務課からのお願い ハラスメントはやめてください

当院では、すべての患者さまと職員が安心して過ごせる環境づくりのため、ハラスメント防止に取り組んでいます。以下のような行為は固くお断りしております。

- ・暴言・暴力
- ・長時間の居座り
- ・ストーカー行為
- ・SNS等での名誉毀損
- ・セクシャルハラスメント など

これらの行為が確認された場合、診療をお断りする場合があります。
また、悪質と判断した場合には警察へ通報いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

腹水・胸水が減らない人向け治療 “CART（カート）”のご紹介

臨床工学技士は主に、生命維持装置の操作・管理を行っています。今回は血液浄化分野の中から、CART（カート）という治療を紹介します。

CARTは、がんや肝硬変などによりたまった腹水や胸水を濾過・濃縮させ、タンパク成分を体に戻してあげる治療です。塩分制限や利尿剤で改善しない難治性腹水症（または胸水症）が保険診療の対象で、健康保険を使うことができます。当院では年間で10～20件ほど行っています。

腹水が貯まると、おなかの圧迫感や痛みで日常生活に支障を来す場合がありますが、治療で症状が改善されます。腹水を抜いてタンパク成分を体に戻すと栄養状態が改善されるため、体も元気になり、生活の質の向上も期待出来ます。

治療は入院で実施 最短で2泊3日から

CARTは原則、入院での治療です。状態にもよりますが、最短で2泊3日かかります。もう少し治療頻度を増やす必要がある方は、2週間に一度を目途に、何回か治療を行います。

1. 腹部（胸水の場合は胸部）に針を刺して腹水（胸水）を抜いていきます。
急な放水だと血圧が低下し、気分が悪くなる可能性がありますので時間をかけてゆっくり抜いていきます。
抜く時間は水の量や濃度により変動しますが、約2時間ほどです。
2. 抜いた液体を濾過・濃縮する膜に通して、不要な水・細菌・細胞を取り除きます。
3. アルブミンなど必要なものを回収し、点滴で体に戻します。

よくある副作用には、頭痛、吐き気、血圧上昇・低下、悪寒などがあります。このような症状が出た場合はお薬などで対応します。

お悩みの方は一度、当院外来で医師へご相談下さい。



古河日赤 information

6・7月新任着任医師

腎臓内科	渡邊 祐作
第一外科副部長	崎尾亮太郎
眼科	粕谷 友香
循環器内科	橋元由紀子

ご本人確認のため フルネームと生年月日を 伺います

同姓同名の方との混同を防ぐため、受付時だけでなく検査、診察、手術などさまざまな場面で何度も伺います。

ご面倒をおかけしますが、都度、フルネームと生年月日を教えてください。

オレンジ色で分かりやすい

マイナ受付専用機レーン



総合受付に設置していたマイナ受付専用機レーンをより多くの患者さんに知っていただくため、並んでいただく場所にオレンジ色の表示を増設しました。

予約のある方でマイナ保険証をお持ちの方は、レーンで受付後、再来機に診察券をお通しいただくか、再来機に診察券を通した後にレーンにお並びください。

予約のない方は先に総合受付にお並びいただき、窓口の職員にその旨をお知らせください。

5/13に看護の日イベントを開催しました



▲来院者にAEDの仕組みを説明する当院職員(左・正面)

5月13日、当院1階で看護の日イベントを行いました。当日は子どもの救護服・看護実習服の着用体験や栄養相談、AEDの使い方講習などのブースが設けられたほか、日本赤十字社のマスコットキャラクター「ハートラちゃん」も駆け付け、記念撮影が行われました。

敷地内禁煙に ご協力を



当院の敷地内は、建物内・建物外に関わらずすべて禁煙です。駐車中のお車で喫煙もご遠慮ください。見かけた場合はお声がけさせていただきます場合があります。

近隣でも喫煙マナーをお守りください。



地域連携室だより



Regional Cooperation Office

身体の健康はお口から 医師と歯科医師の連携であなたの健康をもっと守る！

「お医者さんは体のことだけ」「歯医者さんは歯のことだけ」と思っていませんか？実は、全身の健康と口の健康は密接につながっています。そこで注目されているのが、医師と歯科医師が手を取り合って患者さんの健康をサポートする「医科歯科連携」です。

お口の清潔が合併症リスクを減らします

これまでは別々に考えられがちだった医科と歯科ですが、研究が進むにつれて、口の中の健康が全身に大きな影響を与えることが明らかになってきました。

例えば、がん治療や手術の前に口の中をきれいにすると、合併症予防に繋がりますし、お薬の中には口の中の状態に影響を与えるものもあります。からだの病気を治療するときにも歯科の視点があることで、治療をより効果的に行うことができます。ほかにも、患者さんのメリットになることがあります。



病気の早期発見・重症化予防

専門分野を越えた情報共有で、病気の早期発見につながります。

病気の悪循環を断ち切る

例えば、糖尿病の治療と歯周病の治療を並行すると血糖コントロールが改善することがあります。

質の高い医療を受けられる

医療機関の情報が共有されると重複する検査が減り、より効率的に治療を受けることができます。

生活の質が上がる

口の健康が保たれしっかり食事ができ、会話を楽しみ笑顔でいられることは、生活の質（QOL）向上に直結します。

私たちの取り組み

当院では、地域の歯医者さん、クリニック、病院などとの連携を積極的に進めています。患者さんの同意のもと必要に応じてスムーズな情報共有を行い、適切な医療を迅速に受けられるよう、医療機関の橋渡しをしています。

日本赤十字社創立150周年に関する アンケートにご協力ください



2027年5月、日本赤十字社は創立150周年を迎えます。QRコードを読み込み、あなたの声を聞かせてください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で、限定ハートラちゃんグッズが当たります。

当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

ご意見・ご感想をお寄せください

院内の意見箱へ、広報誌を読んだみなさんのご意見・ご感想をお寄せください。「この号のこの記事が面白かった・ためになった」「こんな内容を読みたい」など、なんでもかまいません。たくさんの声をお待ちしております。

※お電話では承りかねます。ご了承のほどお願いいたします。